

英会話スクールが知られると正直ちょっと困っちゃう
英会話スクールと先生の選び方

By イムラン

ベチョベリグな英会話スクールの選び方

「英会話スクールって名前以外みんな一緒」
あなたはそう思っていないですか？！

実は、ハイ、その通り！！！！

経験者は語る：2002年夏頃、英会話スクールを立ち上げたいと思い、「ケイコトマナブ」を買いました。そしてまずは各スクールの特徴、料金設定等を理解し、差別化要因を特定し、料金戦略を企てることにしました。

「ニッチ市場を開拓してやる！」私はそう心に決め、その分析に使うためにかなり思考を凝らしたエクセルの表まで作りました。

結果から言えば、その表は5分でゴミ箱行きです。

**だってみんな料金までほとんど全部同じなんだもん！
表なんかいらないよ！**

英会話スクール並びに英会話に関する口コミ・ホームページはよく、「英会話スクールと一口に言ってもレッスン体系や料金設定は様々ですよ」と言っていますよね。でもあなたの直感では、「どこも一緒じゃん！ 区別がつかないよ！」ですよ。

そう、あなたの感じる通り、日本にある英会話スクールはレッスン体系から料金設定まで、ほとんどどこも一緒です。例えば、値段も40分レッスンがいくらとか50分がいくらとか言っていますが、その料金を60分単位に直すと、大体みんな一緒です。

じゃあ、どうやってスクールを選ぶべきか。選ぶ基準は色々ありますが、ここではホームページやパンフレットを見ただけで良いスクールかどうかを判断する方法をいくつかご紹介しましょう！

まずは通ってはいけない英会話スクールの見極め方を教えちゃいます。けっこう英会話スクール業界の核心に迫ることを教えてしまうので、他言無用でお願いいたします。

こんなスクールにはお気をつけください！ 3か条

① 安さが一番の売りである(&やたらと割引をしている)

英会話スクールを探す際、ほとんどの方がまず値段を見ます。ケイコとマナブとかを見ている人に多いのが、まず高いところから消去していく人。当然の反応だと思います。どうせどこも一緒なんだから、高いところは嫌ですよ。安いところのほうがいいに決まっている。

でも英会話スクールを決めるときに、一番気にしてもらいたいのは、

値段以外に何を訴えているか

広告の一番大きい文字を探してください。もしそれが「〇〇無料！」「〇〇%OFF！」だったら、そのスクールには大きなバツテンを書いてください。値段で勝負しているスクールは基本的に「あなたを上達させるノウハウ」を持っておらず、値段でしかあなたを釣れないから、値段を前面に出しているんです。

だって、あなたをどこよりも上達させることができるなら、まずそれをあなたに伝えるはずじゃないですか？でもそうはせずに、まず、「うちが一番安いですよ」と言ってるわけです。こういうところは明らかに、「安さで釣って、何とかして入会させよう！」というスタンスなので、大抵営業の電話とかが激しいです。

ちょっと想像してみてください。あなたは最高に履き心地の良い靴を作る靴職人です。一つ一つの靴を魂を込めて作っています。それを半額でバナナの叩き売りみたいに売りますか？人間は魂を込めたものを安く売れないんです。だから、100%とは言いませんが、かなりの割引をする英会話スクールはまず、魂は込めていない可能性が高いです。「魂が込められていなくても、安けりゃいいよ！」という方はぜひ、安さ爆発の英会話スクールを選んでください！それ以外の方は、どうぞ読み続けてください！

さて、まだ読んでいただいていますか？そうであれば、嬉しいです。このガイドブックにも私の魂が込められています！だから、しっかりと理解してくれる人に読んでいただくのは、本当に嬉しいんです。

値段に関してもう一言。入会金 OFF キャンペーンをやっているところもあまりお勧めしません。私は英会話スクール以外に新米起業家や起業家を目指している人達とよく会いますし、そういう人むけのビジネス・セミナーを開催しています。で、入会金 OFF キ

キャンペーンとかをやっているのは、100%儲かっていない人や会社です。そういう人や会社はもうお客さんに目が向いていません。一日中、営業方法ばかり考えています。どれくらい割引したらどれくらい入学するかな？とか、割引時期はいつがいいかな？とかそんなことばかり考えています。実際、英会話スクールで潰れていったのは、NOVAとか〇〇とか〇〇〇割引ばかりしていたところですよ。倒産したほぼ全てのスクールは倒産数日前まで何食わぬ顔で数か月分の月謝を事前にもらっていました。生徒さんに目が向いていないからそういうことができるんです。

それと、いついつ入った人は入学金 1 万円だったのに、いついつ入った人は 5 千円というのは、おかしいですよ。私は正直、季節によつての割引は 1 万円払って入会した人に失礼だと思います。私は生徒さんを全員平等に見るので、5年間で一度も割引をしたことはありません。だから、入会金キャンペーンをやっているスクールを見ると、なんて不誠実なやつらなんだ！と思ってしまうわけです。みなさんも季節によつて入会金の違うスクールは概ね止めておいたほうがいいですよ！

② 週 1 回レッスンが基本体系である

次の基準はレッスン体系ですね。週 1 回レッスンをうたっているところがほとんどだと思いますが、正直、週 1 回のレッスンはあまりお勧めしません。

あなたは 7 日前に何をしていたか覚えていますか？何を食べたか覚えていますか？覚えてない？私も覚えていません。というか、普通は覚えていませんよね。だったら、7 日前のレッスン内容を覚えているわけが無いじゃないですか。私も今までよくありましたよ、「覚えてない？先週やったじゃん？！」って思ったこと。でも今思えば、覚えているわけがないんですよ。

しかも、ほとんどのスクールは決まったテキストがあって、カリキュラムも管理されてるじゃないですか。そうするとどうなるか分かりますか？まず、1 週目につまらない文法の勉強しますよね。次の週、前回の授業でやったことは身につけていますか？となる。普通は 7 日前に何をやったか覚えてないので、もちろん身につけていない。覚えていないなら、もう一度やらないと先に進めませんね、となる。そうすると最初は 3 ヶ月で終わるだろうと見積もっていたテキストに 6 ヶ月かける。時間もお金も余計にかかるわけです。英会話スクールからしてみたら、こんな美味しい話ないですよ…つまり、

週 1 回のレッスンというのは生徒さんにとって非常に非効率的なシステムで、はっきり言ってしまえば、生徒さんを生かさず(上達させず)、殺さず(やめさせず)、できるだけ長くお金を出させるための、

英会話スクール側にとっては最高のレッスン体系なのです。

もちろん、時間やお金の制約で週2回受講できない場合はしょうがないですけどね。実は私のスクールでも、どうしても週に一度しかいらっしゃることができない生徒さんがいるのです。でも「週1回のレッスンははっきり言ってぼったくりですよ…」と言っておきながら自分のスクールでも週1回を提供していたら、面目丸つぶれじゃないですか。だから私のできる範囲で生徒さんの上達を確かなものにするための工夫を色々と設けています。そのために脳と記憶に関する文献をたくさん読みましたし、今も読んでいます。脳や言語学関連の研究結果やニュースがアップされるサイトも常に読んでいるほどのマニアックぶりです。

正直に言いますが、ここまでやっている先生はほとんどいないと思います。だから、「うちでダメなら英語は諦めてください◎」と謳っているのは、煽っているわけでもなんでもなく、そう言えるだけの努力はもちろん、知識も経験もあるからなんです。

もちろん、基本的には週2回のご受講をお考えになるほうがいいんですが、どうしても無理であれば、週1回でも良いと思います。しかし、私の英会話スクールみたいに、ちゃんとあなたが宿題をやらなくてもあなたを上達させてくれるカリキュラムがあるところにしてください！

③ 「いつまでにどれだけ上達する」という約束をしない

さきほど、「何を訴えているか」が一番大事だといいました。本当に良いスクールというのは、生徒さんの立場になって、生徒さんが何を知りたがっているのかを教えてくれるスクールです。そして生徒さんが最も知りたいこと、いや、唯一知りたいことは、

いつまでにどれだけ話せるようになるのか

じゃないですか。でも、ほとんどの英会話スクールは「いつまでにどれだけ話せるようになるのか」ということにはあまり触れません。

約束を明確にしていないスクールは基本的に責任放棄していると思ってください。どんな風に責任を放棄しているのか。参考までに私の経験に基づいたフィクショナルな営業トークをご覧ください：

スタッフ：当校ではどこよりも安く、良質なレッスンを提供しています
あなた：いつ頃までにどれぐらいの英語力が身につきますか

スタッフ: それは生徒さんによって様々ですね

あなた: 目安とかないんですか?

スタッフ: …当校のテキストは3冊がワン・セットになっておりまして、1冊約50時間で終了するような構成になっております。つまり150時間でレベル1-3までを終了できます。

あなた: 150時間やるとだいたいどれぐらいの効果があるんですか?

スタッフ: え～、生徒さんがどれぐらいテキストの内容を身につけるかによります。

だから、それを聞いているんじゃない!

と思いませんか? 嘘みたいでしょ? でもこれが現実なのです。英会話スクールというのは生徒さんに英語を身に付けさせるのが仕事ですよ。なのに、それは生徒さん次第だなんて…おかしいですよね?

あなたが一番興味のある英語の上達に関して、「あなたが実際にどれだけ話せるようになるか」ではなく、「あなたがテキストを何冊終わらせることができるか」という一見客観的に聞こえる主張をしているのは、あなたを上達させることができるかどうかわからないから、上達しなかった時のための言い訳です。

では、しっかりとあなたの上達のことを考えているスクールと前述の無責任な英会話スクールの違いは何だと思います? ちゃんとしているスクールは、

これぐらい話せるようになるためには 何をすればいいんだろう、 何を教えればいいんだろう、と逆算するのです

つまり結果はもう分かっており、そこまでどうやってあなたを連れて行くかを考えているのです。こういうスクールはあなたという生徒さんの立場でものを考えています。

相手の立場で考える。英会話スクールであれば、生徒さんの立場になって考える。英会話スクールに限りませんが、英会話スクールと生徒さんとは言っても、人間と人間の関わり合いです。そこに、相手の立場になって考える姿勢があるか無いかはすごく重要です。あなたの大好きな人を思い浮かべてください。その人はあなたの立場で考えてくれますか? あなたはその人の立場になって考えますか? そりゃ、大好きだから、極力そうしますよね、お互い。あなたの立場になって考えてくれる英会話スクールはあ

あなたのことが大好きなんです。あなたからどうやってお金を取るかではなく、どうすればあなたが喜ぶかを考えているんです。

今、お話しした3か条を念頭において英会話スクールを選んでいただければ、きっと良い英会話スクールが見つかると思います。ぜひ、あなたのことをしっかりと考えている良い英会話スクールを見つけてください！

あなたを確実に上達させてくれる先生

多くの方は英語上達への近道は日本語が話せない先生から習うことだと考えています。実はこれ、とてつもなく大きな間違いです。間違いというかまったく逆！複数の英会話スクールで英会話を勉強したことがある生徒さんのほとんどが知っていることですが、

**質問を英語で訊く程度の英語力がなければ、
日本語が話せない先生に習ったとしても、
あなたはほとんど上達しません。
1年習っても、日常英会話もできるようになりません。**

よく考えてみれば当たり前のことなのですが、以下にわかりやすい実例を紹介します。

I can't stand his attitude.

どういう意味だかわかりますか？実はこの表現、「私は彼の態度が我慢できない。」という意味です。「stand」ですが、「立つ」には関係ありません。

さて、日本語のわからない先生が日本語無しでこの表現を説明するとどうなるか。10人中9人は、「can't stand」は「hate」と同じような意味ですよ、と教えます。つまり、「I hate his attitude.」と同じですよ。

でも、「私は彼の態度が我慢できない。」と「私は彼の態度が嫌いだ。」は、若干違いますよね…

じゃあ、逆に「can stand」は「hate」の反対の「like」なのかなと思ったりしますよね。でも、「I can stand his attitude.」は「私は彼の態度を我慢できる。」なので、明らかに

「好き」な感情はありませんよね。まだ多分、嫌いです。

もうお分かりですか？英語だけで英語のちょっとした表現を習うと、けっこう混乱します。肯定文を否定文にしたりすると、もう大混乱です。だから、きちんと日本語での説明があったほうがいいんです。

「can't stand」は「我慢できない」、「can stand」は「我慢できる」ですよ、ってね。しかも、ここまで理解するのに費やした時間を考えてみてください。日本語だと一瞬で理解してもらえます。でも英語オンリーだと、これを全部説明して、理解してもらうまで最低5分はかかります。しかも、正直5分後にしっかりと理解しているかどうかは微妙です。なので、

正確なニュアンスを含めて英語を学びたいのであれば、 日本語のわからない先生に習っては無理。

あたりまえですよ。だってこんな簡単な違いだって分かるようにならないのですよ。少し複雑な内容になったら、あなたは英語のニュアンスをまったく理解できずに、習った英語を使うことになります。

そして「分かったような、分かっていないような」気持ちで英語を学び、「これでいいのかな？この言い方で合っているのかな？」と考えながら英語を話すことになります。そしてさらに、

日本語のわからない先生に英語を習うと、 色々な表現を勘違いして覚えてしまう

例ならいくらでもあります。「can't stand」もそうだし、be going to と will の違いも、日本人のほとんどの人は勘違いして覚えています。Be going to と will が同じ意味か、willの方が確実性が低い時に使うと思っていますよね？ぜんぜん、違います！

それと、学校で「人に何かを薦める時は、You had better を使いましょう！」と習っていますよね。これは明らかに間違っています。You had better というのは、「〇〇しないとどうなるか分かってるだろうな！」というちょっと脅迫じみた表現なのです！驚きましたよね？

こういった勘違いが積み重なっていくのを想像してみてください！わお！勉強する気がなくなりますよね。

だから、あなたには絶対に、正しい英語を正しい方法で教えてくれる先生と英会話スクールを見つけてもらいたいです。だから僕はこのガイドブックを書いているんです。だから僕は6年前の開校当初から、全国各地からの資料請求に応じているんです。東京にしかスクールがないのに。

では、ここまでの話をまとめましょう。日本語のわからない先生から英語を習うと、あなたにはこんなデメリットがあります。

- デメリット(1) 習った英語の意味がよくわからないので、ピンとこないから覚えられない
- デメリット(2) 習った英語の意味がはっきりとはわからないので、あなたはその英語を使うのを避け、知っている単語しか使わないから、あなたの英語力の幅が広がらない
- デメリット(3) 英文法や英語表現、英単語を勘違いして覚える
- デメリット(4) 授業中に質問や疑問が浮かんでも英語で聞けないため結局質問ができず、疑問が残る。

最後に1つ面白い話をしましょう。ある英会話スクールで先生をやっていた友人(イギリス人)の弟が日本に遊びに来たんです。一緒に席で、「昼間時間があるんだったら英会話でも教えれば」と他の人が言うと、彼はなんて言ったと思います？

「日本語ができないのに、日本人に英語教えられるわけじゃないか」

これは日本語ができる私が言っているのではなく、日本語のできないイギリス人が言っているのです。この際はっきり言ってしまいます！怒らないでくださいね！

英語の先生をやっている外国人もやっていない外国人もそのほとんどが、日本語が話せないのに日本人に英語を教えられるわけがない、と思っている。

「でもほとんどの英会話スクールの先生は日本語を話さないじゃないか！」と思っている方もいることでしょう。確かにそうですね。でもその先生達が日本語を使わずに英語だけの授業をしている**本当の理由**をご存知ですか？

本当はこういうことはあまり言いたくないのですが、ここだけの話にさせていただくという条件で、正直に言いましょ。ほとんどの英会話スクールの先生は日本語がわからないのに先生をしているのは、先生という仕事に生活がかかっており、その生活の面倒を

見ている学校の方針が日本語厳禁だからです。

なんで私がそんなことを知っているかというと…私もそのうちの一人だったからです！

そして私の周りの有能なバイリンガル講師もそうでした。しかも、英語を教え始めた頃、私は日本語がわからないフリをして色々な学校の面接を受けました。しかもわざと片言の日本語を話したりもしました！生活がかかると、人間なんでもするものですよ、本当に。そして、ほとんどの英会話スクールも、習っている生徒さんも、日本語が話せない先生に英語を習った方がいいと言うのですが、長い間その環境にいと、いつの間にか、自分もそう思い始めるのです。

ところで、日本語厳禁スクールで最も生徒さんの定着率が高く、人気があり、「分かりやすい！」、「勉強になる！」と生徒さんに好評な先生はどういう先生だかご存知ですか？実は…

スクール経営陣の目を盗んで、重要なところは 日本語の説明を入れる先生

なんで私がそんなことまで知っているかというと…これももちろん私がそうだったからです！

私は英語を教え始めて6ヶ月経った後、約2年間3つの英会話スクールで掛け持ち講師をしていました。その全てのスクールで生徒さんの定着率、リピーター率がNo. 1となりました。人数無制限の初心者のグループ・レッスンで連日20名以上の生徒さんが私の授業を受講されたこともあります。これは他に受ける授業がなかったからではなく、もう一方の同レベルの授業に2～3名しかいないにも関わらずです。「レッスンは少人数制が良い！」とか言われていますが、私のレッスンは例え20名のレッスンでも受けたいと思ってもらっていたのです。

「なんだよ、自慢かよ。」と思う方もいるかもしれませんが、別に自慢でも何でもありません。中には20人を一度に教えて満足させることができる先生もいるのに、1対1の授業をやっているながら、あなたが満足できない授業をする先生をいつまでもガマンする必要はないんじゃないですか？と問いかけたいだけです。

私みたいな先生が日本で私しかいないと言っているわけでもありません。私以外にもけっこういるはずなので、そういう先生をがんばって探してください！そして、どうしてもいなかったら、最後に私のところに来てください。茶菓子でも持ってきていただければ、少

しぐらい割り引き…しません！

あとがき

英会話講師を始めて6ヵ月ぐらいした時のことです。
ある中級クラスの生徒さんがこう言ったのです。

「お手洗いの場所聞いたら「ダウン=down」って言うから下の階に行ったら、お手洗い無いんだよ！空港のインフォメーションの人なのに、私が英語分らないことをいいことに、嘘をつかれたんです！」

そりゃ違うよ！私は心底そう叫びたかった！インフォメーションの人は嘘ついてないし、馬鹿にもしてない！**あなたが勘違いしているだけだよ！**

でも言えませんでした。相手は私の倍は生きておられる中年の自信満々な男性。しかも、日本特有の「恥の文化」を考えると、彼の半分しか生きていない若造である私が、他の生徒さんの前で彼に真実を伝えることは好ましくなかったのです。その真実とは、

彼は大きな勘違いをしているだけ！！！！

インフォメーションの人はおそらくこう言っていたのです：

「The restroom is just down the hall。」それか「It's just down there。」

「トイレは廊下の先だよ。」それか**「そこをちょっと行ったところだよ。」**

インフォメーションの人は嘘をついていないのです。でも彼はこれからも、「私が英語をあまり話せないのをいいことに、海外の空港のインフォメーションの人に嘘をつかれた！」

私はこの4-5年で400人～500人ぐらいに、

The restroom is right down the hall.

はどういう意味だかわかりますか？と聞いています。簡単な文章でしょ。何も難しい単

語は使っていないですよ。でも、何人が正しく答えられたと思いますか？

たったの3人。

TOEIC®600 点台がざらにいる中でたったの3人！嘘ではありません。他のみなさんは全員「右行って、ホールの下」や「ホールの下」と答えました。「本当かな？ちょっと嘘っぽいなあ」と思った方は周りのお友達に聞いてみてください。あなたのお友達が外資系でバリバリ働いているか、海外生活の経験がある方ばかりでなければ、大体同じぐらいの正解率ですよ。

“down” は前述の通り、「先の方」という意味ですね。では、ここで使われている“right”はどのような意味だか分りますか？「右」ではありませんよ。ここでは「すぐ」とか「ただ」という意味合いです。“hall”は “hallway”=廊下、通路の略。一見、単純ながらほとんどが英会話スクール受講経験のある人400人-500人中、3名しか分らなかった、この文章の意味は、

トイレは廊下をまっすぐ行って、すぐのところだよ。

びっくりしましたか。TOEIC®600 点といえば、「日常生活のニーズを充足し、限定された範囲内では業務上のコミュニケーションができる」とされています。業務上のコミュニケーションはできるが、トイレの場所を教えられても、高い確率でトイレにたどり着けない…まあいいでしょう。百歩譲って、そういうこともあるとしておきましょう。

でも、トイレにたどり着けないぐらいだったら、まだいいですよ。表示も出ているだろうから、その内に見つかるわけだし。でも、これがトイレではなく、観光先で目的地にたどり着けない。ホテルに戻れない。お得意先のオフィスにたどり着けない。財布を落としたけど、誰にも説明できない…などなど。

だから、僕はショックだったんです。この一見簡単な文の意味を質問された400人-500人の人のほとんどが、英会話スクールで勉強したことがある人達、そして英語の勉強のために何冊か本を買ったことがある人達なんです。そんな人達の99%がさっきの文の意味を理解できないんです。じゃあ、英会話スクールでは一体何を教えているの？英語本や英語の教材は何を教えているの？という話になりますよね。

だから僕は絶対に自分の英会話スクールを作って、責任を果たしていない英会話スクールに物申してやる！と思ったのです。だから、僕はこのガイドブックを書くことにしました。

正直私はこのガイドブックを公開するかどうか大いに悩みました。まわりからこんなことも言われました、「ノウハウの中核部分を公開するなんて、おまえアホか！」確かにこれ全部、私が設立したスクール、「コペル英会話」のノウハウの中核なんです。私が7年以上かけて毎日のように考え、生徒さんの微妙な反応に目を光らせ、やっと分ったことなんです。時間はもちろん、お金もたくさん使いました。それをタダでばらまくわけですからね。しかも競合他社にまで私の手の内がばれる。

でも、私が英会話スクールを作ろうと思ったのは、多くの英会話スクールが責任を放棄しているから私が英会話スクール業界を変えてやる！と思ったから。英会話スクール業界の革命児、チェ・イムラになってやる！と思ったからです。

その志を全うすることとノウハウがばれるのを避けるというのを天秤にかけたら…志を全うするほうが重いのです。ぜんぜん重いんです。しかもみんなに盗んでもらえれば、それだけ正しい英語勉強法が広まる。そしていつか教科書にまで私のノウハウが侵食したら…考えるだけでウヒョヒョですね。だから、私はもうこのガイドブックをばらまきたくてしょうがないんです！！！！

このガイドブックに書いてあることは一字一句、全て本当のことです。だから、英会話スクール関係者がこの本を読んだら、正直、背筋が凍ると思います。だって、全部本当のことで、本人たちもわかっていますからね。(実際、開校当初はけっこうネットに悪口を書かれましたし。)背筋が凍った瞬間、自分たちのやり方を正すのか、私の文句をネットに流すのか。是非、前者であってほしいなと思います。そうすれば、あなたや英語の勉強をしたい、英語を習得したい！と心から思っている人のことを大好きな人のことを考えるように考えてくれる英会話スクールがまた一つ増えるからね。

イムラン